歴史文化学科　履修系統図

科目名末尾の数字(1)～(11)は、下表のとおり学位授与の方針（ディプロマポリシー）に定める身に付けるべき能力との関連を示す。

学位授与の方針に定める身に付けるべき能力

(1) DP1：日本、欧米、アジアの歴史や文化、思想の特定分野について専門的な知識を修得している。
(2) DP2：歴史学を中心とした幅広い教養を身に付けている。
(3) DP3：東アジアを中心とした世界の歴史や文化に関する理解と基本的な知識を修得している。
(4)A DP4：数的処理、ＩＣＴ端末の活用、外国語の運用について、それぞれ基本的な知識や技能を修得している。【数的処理、ICTに関すること】
(4)B DP4：数的処理、ＩＣＴ端末の活用、外国語の運用について、それぞれ基本的な知識や技能を修得している。【外国語に関すること】
(5) DP5：自身の知見と良識を基に、論理的な思考によって社会をとらえる能力を身に付けている。
(6) DP6：身に付けた知識等を活用・応用し、客観的に物事を考え、判断する能力を身に付けている。
(7) DP7：他者の主張を理解しつつ、自身の見解を適切に表現して、円滑にコミュニケーションを図る能力を身に付けている。
(8) DP8：日本語による適切な表現力と正確な読解力を身に付けている。
(9) DP9：責任感とチャレンジ精神をもって、主体的に行動することができる。
(10) DP10：社会や世界の多様性を認識し、グローバルな視野をもって多様な価値観を尊重することができる。
(11) DP11：自ら課題や問題点を発見・分析し、それらを多様な人々と協働して処理し、改善・解決に結びつけることができる。

●・・・必修

※１　総合教養科目のDPに定める能力との関連性については、カリキュラム・マトリックス（科目とDPの関連表）を参照　　※２　総合教養科目に配置される語学教育科目から4単位分履修　　※３　プレゼミ科目を２科目4単位以上履修